



Title	WHOニュース 5月/6月/7月
Author(s)	
Citation	目で見るWHO. 2022, 82, p. 24-29
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/89921
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

5 月

May

今月のトピックス

第75回世界保健総会、「平和のための健康、健康のための平和」をテーマに開催

- **事務局長にテドロス氏を再選**
テドロス博士を2期目（5年間）の事務局長に再選出。
- **ウクライナの健康上の緊急事態に関する決議採択**
- **非感染性疾患や糖尿病に関する勧告等を承認**
- **「感染予防と制御に関する世界戦略」等を承認**
- **資金調達モデルの改善に合意**
加盟国は、遅くとも2030-2031年の予算までに、WHOのコア予算の50%を占めるように加盟国分担金を段階的に増加させることに合意。

世界保健統計 2022

超過死亡率の影響を含む過去2年間のパンデミックの疫学的な進展の分析、世界中の保健サービスの中断の概要等を記載。

世界保健サミット 2022

10月16日から18日までベルリンにて。

世界保健サミット（WHS）とWHOは共同で、より健康な未来のためのアジェンダ設定に向け、包括的かつセクター横断的な世界最大級の国際会議を開催。

サル痘、欧米や中東で発生

2022年5月13日以降、サル痘ウイルスの流行地でない12の加盟国から、92人のサル痘の患者がWHOに報告。

COVAXの2022年の目標

低所得国 AMC-92 の国々に資金と提供の努力を集中することなど8つの目標を設定。

がんの負担を減らすための予防接種の重要な役割（IARC）

国際がん研究機関は、ワクチン接種が果たすことのできる重要な役割を強調。

「ワン・ヘルス」新時代に向けて4者間協力覚書に調印

国連食糧農業機関、国際獣疫事務局、国連環境計画およびWHOの4国際機関は「人間・動物・植物・環境の健康を持続的に均衡化し最適化するために協力を強化」する協定に調印。

新型コロナの2年間の超過死亡者数1490万人（WHO推計）

WHOは、2020年1月1日から2021年12月31日までの、COVID-19パン

デミックが直接または間接的に関連する全死亡（超過死亡）は約1,490万人（範囲1,330万～1,660万）であると推計。

世界各地での手指衛生の成功事例

ウガンダにおいて、地元の農園で栽培されたサトウキビから作られたエタノールを使用し、アルコールベースの手指消毒剤を製造している日本企業である「サラヤ」の活動を紹介。

加盟国の分担金を予算の50%に引上げに合意（持続可能な資金調達に関するワーキンググループ）

WHOの主要加盟国で構成される「持続可能な資金調達に関するワーキンググループ」は、加盟国からの分担金を段階的に増やし、2028年から2029年にかけて分担金を予算の50%（現在16%）にすることに合意。

WHO：国境を越えたアルコール・マーケティング規制の重大なギャップを指摘

各国政府がアルコール・マーケティングの包括的な制限または禁止を公衆衛生戦略に組み込む必要があると結論付け。

WHOとMPP：COVID-19の健康技術に関してNIHと合意

WHO、COVID-19技術アクセスプール（C-TAP）と医薬品特許プール（MPP）は、米国国立衛生研究所（NIH）との間で、

注) 本サマリーは、WHO発信情報のインデックスとして役立てて頂くよう標題及び冒頭部分を仮訳しているものです。詳細内容については、QRコードを利用して、日本WHO協会のホームページ経由で、ニュースリリース、声明、メディア向けノートなどの原文にアクセスできます。



COVID-19に関する複数の革新的な治療薬、初期段階のワクチン、診断ツールの開発に関するライセンス契約を締結。

WHO : 「看護の日」に向けて新しい看護・助産コミュニティ・オブ・プラクティスを立ち上げ

「看護の日」(5.12)にちなみ、看護師、助産師、関係者がつながり、コミュニケーションを図り、協力するためのネットワークである Nursing and Midwifery Global Community of Practice を正式に発足。

より安全で、より健康的で、より公平な世界のために(成果報告書) 2020-2021年

全世界で2030年までにSDGsの保健目標を達成するために必要なペースの4分の1程度しか進捗せず。

非感染性疾患(NCD)進捗モニター新版

新版は、主要な非感染性疾患(NCD)とその危険因子を予防・制御するために、加盟国が目標設定や政策・計画の策定に取り組んでいる行動の記録。

世界禁煙デー2022

タバコ産業が環境に与える有害な影響は膨大であり、地球の資源と脆弱な生態系に必要な圧力を加えながら拡大している。

WHO 調達レポート 2021

2020年の調達額は17億1800万米ドルと大幅に増加。

健康関連の持続可能な開発目標に向けた協力の促進(SDG3 GAP)

第75回世界保健総会に先立ち、健康な生活と万人のウェルビーイングのための世界行動計画に関わる13署名機関は、第3回進捗報告書を発表しさらなる協力を促した。

COVAX : ワクチンの公平性のギャップを解消するための緊急行動を呼びかけ

高所得国では80%が接種を受けているのに対して、低所得国では僅か16%の人たちがたった1回のワクチン接種を受けているに過ぎない。

その他のニュース

- WHO : 感染予防と管理に関する初の世界報告書を発表
- ユニセフとWHO : 麻疹の流行に「破滅的な事態」の条件が揃い、子どもたちに悪影響が及ぶと警告
- The Healthy Ageing 50 : 高齢者の健康や暮らしを支援する世界のリーダー50人を募集開始
- WHO : 搾取的粉ミルクマーケティングの衝撃的な実態を明らかに
- 子どもの健康とウェルビーイングのダッシュボードを発表
- エビデンスに基づく意思決定のための新しいWHOガイドとWHOツールのオンラインリポジトリ
- 白書案 : 健康危機への準備、対応と回復のためのグローバル・アーキテクチャ強化
- Health for ALL 映画祭 : 受賞作品発表
- WHOが推奨する診断法の実施を支援する結核検査マニュアル発行
- WHO死亡率データベースの新しい可視化ポータル始動
- 10億人近い「障がいのある子どもや大人、高齢者」が、必要な支援技術にアクセスできず
- 第36回執行理事会プログラム・予算・管理委員会におけるWHO事務局長開会の辞
- WHO事務局長 : グローバルヘルス・リーダー賞を発表
- すべての人のための健康な生活とウェルビーイングのための世界行動計画に関する進捗報告書2022
- 世界保健総会 : 2022-23予算の改訂を承認、総合事業計画(GPW)を2025年まで延長
- WHO : COVID-19パンデミック時の科学コミュニケーションに向けたWHOの革新的コンセプトの事例集
- より良い健康のための行動科学イニシアティブ

5月のWHOファクトシート改訂項目

以下のファクトシートが改訂されています。詳しくは当協会のファクトシートのサイトをご覧ください。

<https://japan-who.or.jp/factsheets/>

・難民と移民の健康 ・アルコール ・喘息 ・食の安全 ・サル痘 ・慢性閉塞性肺疾患(COPD) ・たばこ

6 月

June

今月のトピックス

G7 サミットでのテドロス事務局長発言

『より良い未来への投資：気候、エネルギー、健康』と題してスピーチ。

世界保健総会：医療人材に関する決議採択

100 カ国以上が「健康のために働く2022-2030 行動計画」及びそれに関連する「世界保健医療従事者コンパクト」を採択するための保健人材に関する決議を支持。

マラリアの化学的予防・撲滅のための WHO 勧告を更新

WHO は、マラリアに関する統合ガイドラインとして、マラリアの薬剤による予防や大量投与療法そして撲滅まで、多くの技術分野にわたる新規および新しい勧告を発表。

WHO：タバコ産業の環境影響に警鐘を鳴らす

タバコ産業は毎年、世界で 800 万人以上の人命、6 億本の樹木、2 億ヘクタールの土地や 220 億トンの水の喪失、8400 万トンの二酸化炭素排出などで世界に犠牲を強いている。

WHO：メンタルヘルスとメンタルヘルスケアを変革する緊急の必要性を強調【報告書】

メンタルヘルスに関する今世紀に入ってから最大規模のレビューを発表。

WHO 健康・環境スコアカード

健康に対する 6 つの主要な環境脅威（大気汚染、水、衛生（WASH）、気候変動、化学物質への曝露、放射線、労働衛生）の管理について、60 カ国以上の状況を図解したスナップショット。

欧州 WHO：サイクリングとウォーキングは、運動不足や大気汚染を減らし、人命を守り、気候変動を緩和することができる

サイクリングとウォーキングは、ヨーロッパ地域で年間 100 万人の死者を出している過体重と戦い、運動不足を解消するのに役立つ。

SDGs7 報告書：COVID-19 は、エネルギーへの普遍的アクセスに向けた進捗を遅らせている

世界では、7 億 3,300 万人がいまだに電気を利用できず、24 億人が健康や環境に有害な燃料を使って料理をしている。

2022 年「世界献血者デー」：献血は連帯の行為。献血に参加し、命を救おう

6 月 14 日は「世界献血者デー」。

メンタルヘルスが気候変動への取り組みの優先事項である理由

ストックホルム+50 会議で発表された WHO の新しいポリシーブリーフでは、「気候変動はメンタルヘルスとウェルビーイングに深刻なリスクをもたらす」結論付けている。

WHO：増え続ける都市生活者と健康

世界人口の 55 % 以上が都市部に住んでおり、その割合は 2050 年までに 68 % に増加すると予想。

世界食品安全の日：より安全な食品、より良い健康

6 月 7 日は「世界食品安全の日」。

世界肝炎サミット 2022：「ウイルス性肝炎」の撲滅に向けた行動を求める

現在、世界で 3 億 5400 万人がこの生命を脅かす感染症であるウイルス性肝炎にかかり、少なくとも 30 秒に 1 人が死亡している。

注) 本サマリーは、WHO 発信情報のインデックスとして役立てて頂くよう 標題及び冒頭部分を仮訳しているものです。詳細内容については、QRコードを利用して、日本WHO協会のホームページ経由で、ニュースリリース、声明、メディア向けノートなどの原文にアクセスできます。



SARS-COV2 の起源に関する予備報告書

最初の流出事象がどこで発生したかはまだ特定されていない。

緊急アピール：アフリカのサヘル地域における人道的危機

「サヘル」地域における人道危機に対応するための資源ニーズの詳細を示すアピールを発表。

WPRO：太平洋諸島の気候変動に取り組むための早急な協力と行動への期待

西太平洋地域における WHO の活動において、気候変動と環境衛生は特に優先される課題。

WHO：パーキンソン病に関するテクニカルブリーフを発表

パーキンソン病の有病率は過去 25 年間で倍増。

高齢者の虐待への取組み；健康な高齢化の 10 年（国連）に向けた 5 つの優先事項

6 月 15 日は国連が制定した世界高齢者虐待啓発デー。

C-TAP の新しい協定：COVID-19 検査技術への世界的なアクセスを改善へ

医薬品特許プール MPP と南アフリカの製薬会社 Biotech Africa との間で、オープンで透明性の高い新たなサブライセンス契約が締結。

2022 世界難民の日

6 月 20 日は「世界難民の日」。

イノベーションの欠如が抗生物質の性能と健康増進を損なう（2021 抗菌薬報告書）

新しい抗菌治療薬の開発は、抗生物質耐性の脅威の高まりに対処するには不十分であることが明らかに。

その他のニュース

- 世界保健総会：予防接種アジェンダ 2030 を支持、髄膜炎根絶ロードマップの重要性を強調
- サル痘：现阶段では国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態に該当せず
- WHO のデジタル技術への取組み

- WHO：がん医療の質向上のために米国臨床腫瘍学会と提携
- 内臓リーシュマニア症と HIV の重複感染に関するガイドライン発表
- 皮膚に関連する「顧みられない熱帯病（neglected tropical diseases：NTDs）」に対する統合的な管理・統制のための戦略的枠組み
- 7 月 25 日は「世界溺水防止デー」
- 日焼け防止アプリ「SunSmart Global UV」の提供開始
- WHO Quality Toolkit 発表
- 一人ひとりの避妊選択を促進する：WHO の新しい調査により、人々が家族計画に何を望んでいるかが明らかになりました
- ポリオウイルス：依然として国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC）
- ビル & メリンダ・ゲイツ財団（BMGF）、マラリアと顧みられない熱帯病（NTDs）の終息のために、4 年間で 1 億 4000 万ドルを拠出
- ノバルティス、顧みられない熱帯病（NTDs）およびマラリアとの間に 2 億 5000 万米ドルを拠出

6月のWHOファクトシート改訂項目

以下のファクトシートが改訂されています。詳しくは当協会のファクトシートのサイトをご覧ください。
<https://japan-who.or.jp/factsheets/>

- 血液の安全と活用
- A型肝炎
- B型肝炎
- C型肝炎
- D型肝炎
- E型肝炎
- 精神障がい
- パーキンソン病
- メンタルヘルス：対策強化に向けて
- 高齢者の虐待
- 紫外線放射
- 道路交通傷害



今月のトピックス

世界が直面する保健衛生と人道上の課題 (テドロス事務局長)

COVID-19、サル痘、食料危機、中絶に関する米最高裁判決について保健衛生と人道上の観点から大きな懸念を表明。

健康とウエルビーイングのためのセルフケア介入に関するWHOガイドライン (2022年改訂版) 公表

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ、健康促進、世界の安全、弱者奉仕構成要素として「セルフケア介入」を推奨。

国連報告：世界の飢餓人口は2021年に8億2800万人に増加
国連報告「世界の食料安全保障と栄養の現状 (SOFI)」では、飢餓が1億5000万人も増加。

TRIPS 協定に関する WTO の決定について (WHO 評議会の声明)

「万人のための健康の経済学評議会」は、Covid-19 ワクチンに関する WTO の決定を歓迎する一方、パンデミック健康危機にもかかわらず、ワクチンの国際的供給などの取り組み合意に長時間を費やした事など数点の懸念を表明。

WHO：ゲノミクスの公平な拡大を求める報告書を発表

医療や公衆衛生、さらには農業や生物学研究などにも利益をもたらすゲノム技術へのアクセスを、低・中所得国 (LMICs) における資金、人材などの不足に対処して推進することを求めた。

「ワンヘルス」における環境の役割に関する健康の視点 (報告書)

「ヒト・動物・環境」の三位一体と健康の視点から環境のもつ役割を明らかに。

世界抗菌薬啓発週間のテーマ：『みんなで薬剤耐性を防ごう』

薬剤耐性 (AMR) は人間、動物、植物、環境に対する地球規模の脅威。「ワンヘルス」アプローチによる対処を推奨。

ウクライナ危機戦略対応計画 (2022年6月～12月)

危機の渦中にある人々の人命救助と心の健康を守るために対応。

顧みられない熱帯病 (NTD)：2030年までの道のり

「新しい NTD ロードマップ・アドボカシーブリーフシリーズ (The road to 2030)」で、NTD 対策戦略の概略を発表。

WHO と I-DAIR：人工知能 (AI) とデジタルヘルス国際研究のための提携

WHO と国際デジタルヘルスおよび AI 研究協力 (I-DAIR) は、個人と公衆衛生のためのデジタル技術推進の覚書 (MoU) に署名。

「ジェンダー主流化マニュアル」の更新

ジェンダーの規範や役割、関係と、保健関連の行動や成果、対応との関連を科学的証拠と概念に照らして更新。

HRP (Human Reproduction Program) 年次報告書 2021

性と生殖に関する健康や権利の改善に関する世界的な考え方を報告。

結核のケアとサポートに関するガイダンスを更新

社会的支援、治療管理オプション、デジタルアドヒアランス技術などの治療アドヒアランスを可能にする結核への介入実施ガイダンスを更新。

難民・移民報告書：ワクチン接種を呼びかけ

ワクチンは、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ達成の絶対条件で効果の高い公衆

注) 本サマリーは、WHO 発信情報のインデックスとして役立てて頂くよう標題及び冒頭部分を仮訳しているものです。詳細内容については、QRコードを利用して、日本WHO協会のホームページ経由で、ニュースリリース、声明、メディア向けノートなどの原文にアクセスできます。



衛生活動。しかし、難民や移民へのワクチン接種実施にはギャップの存在を指摘。

「世界の食料安全保障と栄養の現状 (SOFI)」2022 年版報告書

健康的な食生活のための公的食料調達・サービス政策の開発と実施のためのガイダンスを提供。

「Goodville」と共同で、身体的・精神的健康の達成と維持を支援する新しいゲーム内キャラクターを開発

「エモーショナルなウエルビーイング・ケアアプリ」を融合した、双方向型農場シミュレーションゲームのプロセスを通じて、利用可能な最善の科学からのサポートとガイダンスを提供。

性と生殖に関する健康への普遍的なアクセス

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ推進のため、Sexual Reproductive Health サービスの効果的・効率的統合のためのハンドブックとポータルサイトを発表。

持続可能な開発のための 2030 年アジェンダにおける健康の促進に関する上海宣言

SDGs の達成に健康とウエルビーイング

が不可欠であることを認識し、政治的優先事項であることを再確認。

多くの脆弱な難民や移民の健康状態が悪化している (報告書)

ニーズに配慮した医療サービスを受けるため集団的な行動を求め、保健システムを根本的に見直すことが、緊急に必要なであることを示した。

パンデミック対策は法的拘束力を持つべき、INB 会合で結論

パンデミックの予防、準備、対応に関する WHO 条約、協定、その他の国際文書の草案作成と交渉のため、政府間交渉機関 (INB) 会議を開催。法的拘束力のある新たな国際パンデミック協定の締結に取り組むことに合意。2023 年の世界保健総会に進捗状況を報告し、2024 年に協定締結の予定。

世界溺水防止デー: do one thing「何か一つを！」

WHO は新しい溺水防止政策、戦略、法律、投資計画を策定し公表することなど「何か一つを (対策) する」ことを呼びかけた。

HIV への対応が脅かされている

HIV は 2021 年に 150 万人の新規感染

発生、世界目標を上回る。65 万人が HIV 関連の原因で死亡する一方、HIV 受療者数は増加傾向で、子供と大人の間の治療率の差は拡大。

その他のニュース

- COVID-19 パンデミックにより、過去 30 年間で最大規模のワクチン接種率の低下が続く
- サル痘、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言
- 世界銀行、パンデミック予防・準備・対応のための基金を設立
- WHO、食糧不安の悪化に伴い、アフリカの角で迫る健康危機への対応を強化
- 国連: 2030 年までに交通事故死傷者半減を宣言
- 世界肝炎デー 2022: 肝炎医療を地域社会の身近なものに
- 薬剤耐性菌感染症を予防するために: 現在開発中のワクチン・パイプラインに関する初の報告書
- 医療・介護分野の女性の収入は、男性より 24% 少ない
- 2022 年から 2030 年までの HIV、ウイルス性肝炎、性感染症に関する世界保健セクター戦略

7月のWHOファクトシート改訂項目

以下のファクトシートが改訂されています。詳しくは当協会のファクトシートのサイトをご覧ください。
<https://japan-who.or.jp/factsheets/>

- A型肝炎 ・ B型肝炎 ・ C型肝炎 ・ D型肝炎 ・ E型肝炎 ・ セルフケア ・ ポリオ ・ ペスト ・ 予防接種率
- 筋骨格系の健康